

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

吾平 移動教育委員会で 吾平地区を語る



11月8日、吾平振興会館で「移動教育委員会」が開催されました。この委員会は、開かれた教育行政を推進するために庁外で定例会を実施するもので、昨年度に続き2回目の開催。当日は、地域住民などが傍聴する中、学校と地域の連携や、地域文化の継承などについて意見交換会が行われました。また、委員会の前には神野小学校の授業視察なども行われました。

輝北 串良 商工会合併調印式



11月4日、市役所で平成24年4月1日の合併を目指す輝北町商工会と串良町商工会が合併契約書に調印する「商工会合併契約調印式」が行われました。両商工会は当初平成22年4月の合併を目指していたが延期となり、今回の合併となったもの。両商工会の9月現在の会員は計329人で、合併後の名称は「かのや市商工会」となります。

エコシンボル 小水力発電装置が完成



11月6日、リナシティかのやで鹿屋工業高校生が製作した水力発電装置（水車）の竣工式が行われました。水車の製作は、水車を建築科、発電装置を機械科、制御装置を電気科、電光掲示板を電子科と、各科が専門分野ごとに担当。直径120cmの水車は、北田の湧水を利用して発電機を回す仕組み。作った電気は、イルミネーションの点灯などに利用されます。



かのやばら祭り2011秋 ～ファンタジーナイト～



10月22日から11月13日の23日間、かのやばら祭り2011秋が開催されました。今回は、夜のばら園を楽しんでいただく新たな企画として、ばら祭り最後の土日の11月12日、13日に「かのやばら園ファンタジーナイト」が行われ、多くの来園者でにぎわいました。園内は、約20,000球のイルミネーションで飾られた幻想的な雰囲気の中、鹿屋女子高校音楽部による女声合唱や地元出身アーティストのライブなども行われたほか、高隈中学校の生徒が製作した竹灯籠など市民参加による演出もあり、夜のばら園に彩りを添えていました。また、ばら園では今回が初めてとなるレーザー光線ショーが行われ、園全体に光とばらのシンフォニーによるロマンチックな世界が広がりました。



吾平 関西吾平会総会開催



11月27日、大阪市で「第16回関西吾平会総会」が盛大に開催されました。当日は、吾平町出身者など120人が出席。現在の吾平町の話が報告されたり、故郷吾平から届けられた味噌や漬物、菓子などの即売や米、焼酎などが当たる抽選会も行われました。参加者は、懐かしいふるさとの話題で盛り上がっていました。

鹿屋 関東かのや会総会開催



11月20日、東京都内で「第13回関東かのや会総会」が開催されました。当日は、関東在住の市出身者等約200人が出席し、会員相互の交流活動や、鹿屋市の観光PR活動の実績が報告されました。懇親会では、歌や踊りが披露されたほか、ふるさとの特産品を賞品とした抽選会もあり、最後は全員で「おはら節」を踊るなど、最後まで盛り上がっていました。

福岡市で 大隅をPR



11月5日・6日の2日間、博多駅と天神駅で「おおすみよかところキャンペーンin福岡」が開催されました。これは、大隅半島4市5町で構成する大隅広域観光開発推進会議が行ったもの。当日は、観光PRのほか、焼酎、かりんとうなどの特産品無料配布などを行い、九州新幹線全線開業により、近くなった大隅半島の食や自然をPRしました。

串良 大いに笑い、 楽しい時間を過ごす



11月5日、串良公民館別館大ホールで「三遊亭歌之介チャリティー落語会」が開催されました。この落語会は、地域おこしグループ「串良がんばる会」が串良平和公園に桜を植えようと企画したもの。会場を埋め尽くした観客は、歌之介師匠の落語で大いに笑い、楽しいひとときを過ごしました。なお、植樹祭は来年2月に実施する予定です。

鹿屋 桜の苗木を寄贈



11月3日、王子町の和田井堰公園で桜の苗木の寄贈式が行われ、ソメイヨシノやヤエザクラ20本が植樹されました。これは、鹿屋第一ライオンズクラブが良好な環境を未来へ残すための環境保全活動として市に寄贈したもの。当日は、関係者が大樹に育ってほしいと願いを込めて、1本ずつ丁寧に植樹を行いました。

農高生 ばらの鉢を寄贈



11月2日、かのやばら園でばら鉢の寄贈式が行われました。これは、鹿屋農業高校緑地工学科の生徒が、かのやばら園のために協力できることはないかと考え、かし樽を再利用したばら鉢に同校で育てたばらや草木などを植えて寄贈したもの。受け取った中野副市長は、「大切に育てたい」と感謝の言葉を述べました。